

# 警察官（I類）教養試験問題

平成22年1月17日（日）実施

※ 指示があるまで開いてはいけません。

## 【注意事項】

- 1 問題は全部で**50題、25ページ**です。**2時間**で解答してください。
- 2 解答用紙の記入方法は次のとおりです。
  - (1) 組・教室番号、試験区分、受験番号はあらかじめ記入・マークされていますので、誤りがないか確認してください。
  - (2) 受付番号を正しく記入し、該当する番号の○をHBの鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。

【例】 3組、試験区分男性警察官I類、受験番号123番、受付番号654番の受験者は、下記ようになります。

組	番号	試験区分	受験番号	受付番号
組	003	警察官	00123	00654
	003	男性警察官	00123	00654
	003	女性警察官	00123	00654
教室	003	I類	00123	00654
	003	II類	00123	00654
	003	III類	00123	00654
番号	003	I類	00123	00654
	003	II類	00123	00654
	003	III類	00123	00654

- (3) 教養試験解答欄は、各問題の解答番号1から5のうち正しいと思う解答番号の○をHBの鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。
  - (4) 各問題とも正解は一つですから、二つ以上塗ると誤りになります。
  - (5) 一旦記入してから書き直す場合は、消しゴムできれいに消してください。  
※ 砂消しゴムは絶対に使わないでください。
  - (6) 解答用紙にある注意事項をよく確認してください。
- 3 問題の計算などでメモをしたい場合は、問題用紙の余白を使ってください。
  - 4 試験時間中に問題集を切り取る、計算機を使用する、携帯電話を操作する等の行為は、一切禁止します。
  - 5 試験終了後、この問題集は持ち帰ることができます。

～ 本試験問題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

[No. 1] 法の支配に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 国家権力が法を制定することにより、あからさまな物理的強制力を使わず、制度の遵守という形で支配する。
- (2) 恣意的支配を排除して、権力者を法によって拘束し、個人の人権を保障することに核心がある。
- (3) 解釈が人に依存する不文法ではなく、文書化された成文法だけが国民を強制する法規としての有効性を持つ。
- (4) 国家権力を分立し、相互に監視しあうことによって権力濫用の抑制を図るという仕組みを制度に組み入れる。
- (5) 国家権力を行使する場合は、議会によって制定された法律に基づく行政という形式によらなければならない。

[No. 2] わが国の憲法で規定されている天皇の国事に関する行為として、妥当でないものはどれか。

- (1) 法律を公布すること。
- (2) 国会議員の総選挙の施行を公示すること。
- (3) 衆議院議長及び参議院議長を任命すること。
- (4) 国会を召集すること。
- (5) 衆議院を解散すること。

[No. 3] わが国の憲法で定める権利のうち、社会権に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 自己に不利益となる供述を無理強いされないこと。
- (2) 義務教育における授業料が無償とされていること。
- (3) 特定の請願を理由とする差別待遇を受けないこと。
- (4) 飲食店を営業するに当たり許可を必要とすること。
- (5) 特定の宗教団体に対する公金支出を禁止すること。

[No. 4] 議会政治における国民代表の原理の説明として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 民主的な選挙で選ばれた議員で構成する議会は、直接民主制の擬制であるという考え方である。
- (2) 議会を構成する議員が、それぞれ自らの選出母体の意思を代表しているという考え方である。
- (3) 民主的な選挙で選ばれた議員で構成する議会が、すべての権力を統制するという考え方である。
- (4) 議会を構成する議員は、一選挙区の代表ではなく国民全体の代表であるという考え方である。
- (5) 議会を構成する議員の公開討論を経た多数決で国家の意思を決定するという考え方である。

[No. 5] 一票の格差が最大で4.86倍だった2007年7月の参議院議員選挙めぐり、首都圏の弁護士らが選挙の無効を求めた訴訟の上告審で、昨年9月30日に最高裁判所大法廷が示した判決に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 定数配分規定が憲法違反に至っていたとは言えないが、投票価値に大きな不平等があるので、選挙制度の仕組み自体の見直しが必要であると指摘した。
- (2) 定数配分規定が法の下での平等の観点から国会の裁量権の限界を超えた違法なものであったことを宣言しながらも、選挙自体の効力は否定するに至らなかった。
- (3) 定数配分規定には不平等が認められるが、人口の変動に応じた制度の変更には相応の時間を要することを考慮して、制度上許容される範囲内であるとした。
- (4) 定数配分規定は投票価値の平等の観点から違憲状態と考える余地があり、従って次期参議院議員選挙までにすみやかに定数の振替措置を講ずるよう求めた。
- (5) 定数配分規定は、前回選挙に比べて最大格差が縮小していることから、国会の裁量権の限界を超えるものではなく、なお相応の合理性を有しているとした。

[No. 6] 消費性向の説明として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 家計における収入に対する消費の比率
- (2) 国民経済における総支出に占める消費支出の割合
- (3) 国民経済における消費支出の対前年増加率
- (4) 家計における可処分所得に占める消費の割合
- (5) 家計における貯蓄に対する消費の比率

[No. 7] イギリスの経済学者であるケインズ (Keynes 1883-1946) によって、不況を克服して完全雇用を実現するために、政府が採用すべきと考えられた政策項目として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 自由競争の確保
- (2) 物価の安定
- (3) 変動為替相場制の導入
- (4) 通貨供給量の拡大
- (5) 有効需要の創出

[No. 8] わが国で二酸化炭素削減のために政府が推進する施策に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 一定の性能要件を満たす冷蔵庫、洗濯機、掃除機などの家庭電器製品を購入した場合、商品券等と引き換えられるエコポイントを付ける。
- (2) 従来エアコンなど一定の家庭電器製品からグリーン家電製品への買替えを行う場合、家電リサイクル法によるリサイクル経費を免除する。
- (3) 住宅用の太陽光発電システムの設置又は家庭用の燃料電池を導入した場合、所得税の課税に際して導入費用相当分の控除を認める。
- (4) 一定の性能要件を満たす電気自動車やハイブリッド車を新車で購入する場合、自動車重量税及び自動車取得税を免除する。
- (5) 環境対応車を購入した場合、補助金が支給されるが、新車は1年、中古車は3年以上の使用が求められ、違反すると補助金の返納を求められる。

[No. 9] わが国の捜査特別報奨金制度（公的懸賞金制度）に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 対象事件は、警察庁指定特別手配被疑者に係る事件等で、被疑者が判明している事件に限られる。
- (2) 金額の上限は300万円で、被害者の家族等の事件関係者が提出すれば、1,000万円まで増額することができる。
- (3) 情報提供の期間は原則として1年間で、有力情報の提供がなければ、自動的にもう1年更新される。
- (4) 特別報奨金の支払いは、事件解決にかかわる有力情報を提供した人数で、均等に分配される。
- (5) 特別報奨金の支払いについては、警察職員のみならず、その親族であっても対象外となる。

[No.10] 遣唐使に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 最初の遣唐使は、平安時代初期の吉備真備らであり、多くの留学生や学問僧を伴っていた。
- (2) 遣唐使の小野妹子は唐の皇帝に接見し、中国の王朝と対等の立場で国交を開くことができた。
- (3) 遣唐使に伴ってわが国に訪れた唐僧の栄西は、平安時代の仏教の発展に大きく寄与した。
- (4) 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受けて、宮廷を中心とした藤原文化が繁栄した。
- (5) 遣唐使は、安史の乱の後に唐が衰退したことなどから、菅原道真の建議によって廃止された。

[No.11] わが国で鉄道や紡績などで会社設立ブームが起こり、機械技術を本格的に導入する産業革命が進展した時代の出来事として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 日清戦争
- (2) 日露戦争
- (3) 韓国併合条約
- (4) 第一次世界大戦
- (5) 関東大震災

[No.12] ローマに関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) ローマは、紀元前6世紀末にカエサルらの下で王制から共和政に移行した。
- (2) ローマは、ギリシア軍をポエニ戦争で破り、全地中海を支配下におさめた。
- (3) 元首政という事実上の帝政による繁栄の時代は、ローマの平和と呼ばれる。
- (4) オクタウィアヌスは、キリスト教を公認し、さらには唯一の国教と定めた。
- (5) ローマ帝国は東西に分裂し、ゲルマン民族の侵入により、相次いで滅びた。

[No.1 3] 第一次世界大戦の終結後に連合国とドイツとの間で調印され、ドイツの全植民地の放棄、軍備制限、多額の賠償金などを定めた条約はどれか。

- (1) ウェストファリア条約
- (2) ヴェルサイユ条約
- (3) ベルリン条約
- (4) ポーツマス条約
- (5) ユトレヒト条約

[No.1 4] 次の表は、わが国の県のうち、宮城県、神奈川県、長野県、岡山県、福岡県の概要を順不同で示したもので、最終行は全国計である。この表において長野県に該当するのはA～Eのどれか。

区分	面積 (100km <sup>2</sup> )	人口 (万人)	耕地面積(千ha) ( )は 水田率(%)	農業 産出額 (億円)	工業生産額 (出荷額/ 億円)	年間商品 販売額 (億円)
A	136	219	114 (51)	2,296	62,599	60,629
B	50	505	90 (78)	2,236	77,515	216,901
C	24	883	21 (20)	755	194,002	198,190
D	73	236	138 (81)	1,997	35,702	102,365
E	71	196	71 (79)	1,270	72,956	54,516
全国	3,779	12,777	4,692 (54)	88,068	2,958,003	5,387,758

注 面積は2007年、人口は2006年、耕地面積、農業産出額、工業生産額は2005年、年間商品販売額は2004年のもの。

- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D
- (5) E

[No.15] 東ヨーロッパの国A～Eの首都名に関する記述として、最も妥当なものはどれか。



- (1) Aの首都はプラハである。
- (2) Bの首都はワルシャワである。
- (3) Cの首都はブダペストである。
- (4) Dの首都はソフィアである。
- (5) Eの首都はサラエボである。

[No.16] 次に挙げる江戸時代の文学作品のうち、近松門左衛門の作品はどれか。

- (1) 仮名手本忠臣蔵
- (2) 好色一代男
- (3) 世間胸算用
- (4) 曾根崎心中
- (5) 東海道四谷怪談

[No.17] 福沢諭吉についての記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 啓蒙思想家として、西洋事情を紹介するとともに、自由民権運動の指導者として民権議院設立の建白書を提出するなど民主主義の普及に努めた。
- (2) 個人の自立・独立心を育て、小国日本の富強をはかることを主張し、そのためには、個人の自覚と合理的・実用的な学問が不可欠であるとした。
- (3) 政府の留学生としてフランス流の共和主義思想を摂取し、天賦人權論に基づき、自由、平等及び友愛の三大原理による民主共和制を理想とした。
- (4) 洋行によって西洋近代文明の脅威を体験し、西洋列強に対抗するためには中国及び朝鮮を含めたアジアの連携的な近代化が必要であると説いた。
- (5) 蕃書調所に勤めて洋学を研究し、西洋に留学して実証主義、功利主義の影響を受け、維新後は明治政府に出仕して日本初の憲法草案を作成した。

[No.18] 次のような状況におけるA主事の表現(a)～(e)のうち、敬語の使い方として、最も妥当なものはどれか。

A主事はB課の職員である。B課長は、留守中に研究者のC氏が訪問する予定であったので、あらかじめA主事に対応を頼んでいた。訪問したC氏に対してA主事は次のように挨拶した。

- (a) 「課長はあいにく留守をいたしておりますが、よろしく申しておりました。」
- (b) 「課長はC先生のことをよくご存知で、論文などをお読みになっています。」

C氏は、B課が所管している事務に関連して、ある資料を探しているとのことであった。

- (c) 「該当しそうな資料を探してみたのですが、こちらの書類で結構ですか。」

C氏はその書類に満足したので、A主事はそれを渡した。B課長が戻ってからA主事は次のように報告した。

- (d) 「こちらの部署は資料がよく揃っているので感心したとおっしゃられていました。」
- (e) 「以前から探していらした資料を差し上げたので、お喜びになって帰りました。」

- (1) (a)
- (2) (b)
- (3) (c)
- (4) (d)
- (5) (e)



[No.19] イオン結晶に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 一般に融点が低く、昇華し易いものが多い。
- (2) 結合に方向性がなく、展性及び延性を示す。
- (3) 電気を通さないが、融解すると電気を通す。
- (4) 一般に水に溶けにくく、有機溶剤に溶ける。
- (5) 例として、黒鉛やケイ素などが挙げられる。

[No.20] ヒトの染色体に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

- (1) 染色体は細胞内にある栄養物質を担っている構造体である。
- (2) 染色体数は体細胞分裂で半減し、その後複製されて元に戻る。
- (3) 1個の体細胞に含まれる染色体数は46である。
- (4) 体細胞に含まれる全ての染色体は、形と大きさが異なる。
- (5) 染色体にはタンパク質とRNAが多量に含まれている。

[No.21] 次の式が2に等しいときのxの値はどれか。

$$\frac{1}{1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{x-1}}}$$

- (1) 0
- (2) 1
- (3) 2
- (4) 3
- (5) 4

[No.22] 次の英文のうち、完了時制の扱いが文法的に最も妥当なものはどれか。

- (1) She has done her work before you came in.
- (2) Since that day I am never been to Tokyo.
- (3) When have you graduated the university?
- (4) She has come home from Kyoto yesterday.
- (5) He has been reading the book for two days.

[No.2 3] 「私はその打ち合わせに出席できない。」を英語に翻訳したとき、最も妥当なものはどれか。

- (1) I can not able to attend the meeting.
- (2) It is impossible for me to attend the meeting.
- (3) I am impossible to attend the meeting.
- (4) I am incapable to attend the meeting.
- (5) It is incapable for me to attend the meeting.

[No.2 4] 次の英文において著者が「命題は事実の名前ではない」とする理由として、最も妥当なものはどれか。

A belief or a statement has duality of truth and falsehood, which the fact does not have. A belief or a statement always involves a proposition. You say that a man believes that so and so is the case. A man believes that Socrates is dead. What he believes is a proposition on the face of it, and for formal purposes it is convenient to take the proposition as the essential thing having the duality of truth and falsehood. It is very important to realize such things, for instance, as that *propositions are not names for facts*. It is quite obvious as soon as it is pointed out to you, but as a matter of fact I never had realized it until it was pointed out to me by a former pupil of mine, Wittgenstein. It is perfectly evident as soon as you think of it, that a proposition is not a name for a fact, from the mere circumstance that there are *two* propositions corresponding to each fact. Suppose it is a fact that Socrates is dead. You have two propositions: 'Socrates is dead' and 'Socrates is not dead'. And those two propositions corresponding to the same fact, there is one fact in the world which makes one true and one false. That is not accidental, and illustrates how the relation of proposition to fact is a totally different one from the relation of name to the thing named. For each fact there are two propositions, one true and one false, and there is nothing in the nature of the symbol to show us which is the true one and which is the false one. If there were, you could ascertain the truth about the world by examining propositions without looking around you.

[語義] duality 二重性 / proposition 命題

- (1) 事実に対応するのは個別の対象に限らないから。
- (2) 命題は主語と述語という構造を持っているから。
- (3) 一つの事実に対して二つの命題が対応するから。
- (4) 命題は信念や意見の陳述という形態をとるから。
- (5) 事実はその内部に名指す対象を含んでいるから。

[No 2 5] 次の英文の著者は過去の自分の書類を検分しているが、この著者に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

They were a strange collection, these trifles which had (I suppose) seemed so important to me seventeen years ago. There was the inevitable dance programme, covered with initials which must have stirred me delightfully once, but now left me cold. There was a receipt from a Cambridge tailor, my last outstanding Cambridge bill, perhaps——preserved as a sign that I was now free. There was a notice of a short-story competition, stories not to exceed 5000 words; another of a short-sketch competition, sketches not to exceed 1200 words. Apparently I was prepared to write you anything in those days. There was an autograph of a famous man; "Many thanks" and the signature on a post card. I suppose I had told him that I admired his style, or that I proposed to model myself on him, or had bought his last book, or——who knows? At any rate, he had thanked me.

There were letters from editors; editors whom I know well now, but who in those distant days addressed me as "Sir," and were mine faithfully. They regretted that they could not use the present contribution, but hoped that I would continue to write. I continued to write. Trusting that I would persevere, they were mine very truly. I persevered. Now they are mine ever. From what a long way off those letters have come. "Dear Sir," the Great Man wrote to me, and overawed I locked the precious letter up. Yesterday I smacked him on the back.

[語義] inevitable お決まりの / initials ダンスの相手の頭文字 / outstanding 未払いの / mine faithfully 手紙の結語で、'yours faithfully'の間接話法による表現。この場合「敬具」くらいの意味。mine very truly, mine ever も同様であり、それぞれ「敬白」「草々」くらいの意味で、この順に親しげな表現になる / persevere 辛抱してやり抜く / overawe 威圧する

- (1) 著者は、学生時代を楽しみすぎたので、作家を志したがうまくいかなかった。
- (2) 著者は、学生生活を題材にした小説を書き、さまざまな懸賞に応募している。
- (3) 著者は、雑誌編集者としてかつて作品を応募した相手の仲間入りをしている。
- (4) 著者は、若い頃から文筆家を志望し、努力の結果、ひとかどのものになった。
- (5) 著者は、編集の仕事をしながら、青春時代をテーマにした作品を書いている。

[No.26] 次の文にA～Eを続けて意味の通った文章とするために最も適切な順序はどれか。

配給されたトウモロコシ粉入りの黄色のパンーとは名ばかりの代物だったーを嚙<sup>か</sup>っていた父は、サッカリン入りの紅茶を飲み干し、軒先の珊瑚樹<sup>さんごじゆ</sup>の枝の茂みが地面に落とす木漏れ日に目をやりながら、今日から秋だなとぼつりとつぶやく。そうねと応じる母も、快晴の庭先を見やりながらその言葉に同調する。昭和二十一年、敗戦から一年後の、父が復員してまだ三月もたつてはいない夏の朝のことだった。

- A 熱帯地方で四年に及ぶ軍隊生活と捕虜生活を送ってきたのだから、父が東京の自宅の茶の間に漂う秋の気配にとりわけ敏感だったのはよくわかる。
- B あるいは、父とは四年の余も会っていなかったので、食卓で何ごとかを断言する男親の権威ともいうべきものに、その言葉で初めて触れたのかも知れない。
- C というより、四季があることぐらいは体験として知っていたが、季節の推移というものを肌で感じとることはそれまで一度もなかった、と父の言葉が意識させたのだといってもよい。
- D ただ、父とはその後数え切れぬほどの言葉を交わしているはずなのに、父を失ってかなりの歳月がたついま、敗戦直後にその口からもれた、今日から秋だなというごく短い言葉が鮮やかに記憶に残っているのはなぜなのだろう。
- E 十歳のわたくしは、蝉<sup>せみ</sup>も鳴いているし日ざしも暑かったので、まだ夏は終わっていないはずだと思いつつ、開けはなたれた縁側から流れ込んでくる大気に、前日までとは微妙に違う爽やかな気配をふと感じとらぬでもなかった。

- (1) A-C-D-B-E  
(2) A-D-E-B-C  
(3) A-E-B-C-D  
(4) E-A-B-D-C  
(5) E-C-B-A-D

[No.27] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

例えば、女子中学生を主人公にして、現在をどうやって生きるんだろう、という映画を作ると決める。そこまでは勝手に選べるわけです。もう無数にある可能性の中から一つ選ぶわけですから、みなさんがシナリオを書くときに、こういうモチーフで書いてみようって決めるのは、それは自分の選択です。

それは、自分の意識のずっと下の方に願望があって決めるんでしょうけども、それは決められますが、一旦決めて映画作りだと、映画作ってるんじゃないですね、映画に作らされるようになるんです。

それは例えば、こういう人物がこういう時代にこういう舞台にいたら、こういうストーリーを展開していくって途中まで出来ます。動き始めると、それ自体が映画になろうとする。そこで、都合よくこっちで曲げて作ろうとするとね、映画にならなくなっちゃうんですね。

映画っていうのは、僕よく言うんですが、頭の中にあるんじゃないで、こら辺（頭の上を指さす）にあるんだって言うんです。自分が、こういう映画を作ろうと決めて歩き始めたら、現代の日本で、この歳でね、自分に与えられた物理的条件、スタッフとか才能とか。自分の内的条件、エネルギー全部含めて、最良の方法はひとつしかない。なんかあるはずなんです。それを見つける事なんですよ。

安直に、あそこの映画でこういう風にやってたから、ヒョイって持ってきても、それを安直に持ってきただけですから、くっつかないですよ。最良の方法じゃない。それが駄目だなと思うと、探すしかないんです。自分の頭の中探しても見つからないんです。

それで、僕が映画作る時に、絵コンテに時間が掛かるっていうのは、それなんですけども、そのときに逃げちゃ駄目なんです。困るしかないんです。それで、うんと困っていると、もう少し奥の脳が考えてくれるんです……と思うしかないんですよ。自分の記憶にない過去の体験とか、いろんな物が総合されて、これなら納得できるっていう、それが自分の能力の限界だと思っただけなんですけど、そういうのがポッと出てくるもんだと思っただけなんです。

だから、要はそこまで自分を追いつめられるかどうかなんです。それが一番大事なことです。そうするとですね、映画を作ってるんじゃないで、実は、映画に作らされてるって感じになって来ます。

- (1) 映画制作において最も大切なのはモチーフを主体的に選ぶことであり、その後は必然的な進行に身を任せられる。
- (2) どんなモチーフの映画にも最良の展開が一つあるはずで、それを誠実に探求することをいわば映画が求めている。
- (3) すぐれた映画には、制作者の努力ないし能力を超えたインスピレーションに恵まれるという幸運が作用している。
- (4) 映画の制作は一見自由のように見えるが、実務的な制約が多いために、可能な選択の幅は実際には限られている。
- (5) 映画には多くの無形の蓄積があり、それが実際の場でものをいうので、映画に作らさされているような実感がある。

[No.28] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

子どもが不登校になったり、家庭内で暴力をふるったりすると、親としては大変である。何とかしたいという思いに支えられて、このような人が心理療法家のところに通って来られる。これに対して、われわれは特効薬をもっているわけでも、よい方法を知っているわけでもない。多くの場合、その言葉にひたすら耳を傾けている。このひとつの理由は、ほんとうに人間を変えるものは「体験」しかない、ということである。頭でわかって、それは人間を変える原動力にはならない。

「異文化」を体現しているともいうべき息子、あるいは、夫、妻、それと正面から対決して、その戦いを「体験」してはじめて、解決への道が見えてくる。それは実に苦しい道である。異文化に対する一番簡単な対し方は、それを自分と「異なる」ものとして関係を断つことである。「異常だ」とか「わけがわからない」などと言えばよい。異文化との真の関係の確立はあまりに苦しい道なので、多くの人々がそれとの関係を切りたい欲求にかられる。しかし、そうはさせない内的な必然性によって進められていく。特にその相手が自分の子どもの場合、簡単に関係を切れるものではない——と言っても、そうしてしまう人もあるのだが——。われわれ心理療法家は、そのような苦しい道を歩むことの意義をよく知っているの、その人の歩みをできる限り援助し、途中で投げ出さないように努力する。しかし、時には、われわれの方が投げ出したいと思うことさえある。

このような道を歩き切ったとき、子どもは自立的になっており、それはこれまでの日本人よりは欧米的な自我の在り方を自分のものにしていくことが感じられる。それと同時に親の方も以前よりはるかに自立的になっている。誤解のないように言うておくと、自立的になった親子は、むしろよい関係をもつことができる。一緒に食事したり旅行したりを、それぞれが個人として楽しむことができる。それ以前であれば、お互いの存在が何となく他を脅かすように感じられるので、離れていたいのだが、離れると淋しいというので、いつも関係がギクシャクとする。親から離れようとして、無用な努力を続けてきた学生が、カウンセリングの過程を経た後に、親とも普通に接することができるようになって、「孤立と自立は違いますね」と言ったことがある。自立した人間は人間関係をもてるのである。

- (1) 親子の確執に対して心理療法家は、さまざまな異文化体験をさせる方法を探る。
- (2) 親子間の問題は、子どもだけでなく親の側も自立していないことに原因がある。
- (3) 一般に親子は自分の意見に固執した対決を経て、自立した人間関係に到達する。
- (4) 理解を超えた肉親と逃げずに対決する体験は、人を自立させる力を持っている。
- (5) 家庭内の問題は、互いがいわば異文化を体現していることを悟れば解決できる。

[No. 29] 次の文章の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

いったい道具の用途はその機能と制作および使用の目的とによって決まる。縄文土器は時とともに器形が分化し、初期の煮炊きから供膳へと機能を拡げてゆくが、いずれにしろもともとは人間に食事を供するための道具であった。このような道具の本来の用途を一次用途と呼ぶことにしよう。祭器としての土器は神々を饗応する道具、神々の食生活のための道具である。煮炊きや供膳という機能に変わりはないが、目的が人間から神々に変わっている。このように、一次用途にたいし、その目的と機能の一方もしくは両方を変えて用いるとき、それを道具の二次用途と呼んでおこう。文様のある皿を食卓に出せば一次用途であり、飾り棚に飾れば二次用途である。はじめから飾り皿として作られていても、皿であるかぎり使おうと思えば食器になる。しかし、そうしないのは、食器にない価値が飾り皿につけ加わっているからである。

一次用途と二次用途のちがいはどこにあるか。一言でいえば、一次用途は主として人間として生きるということ、すなわち生の存在にかかわり、二次用途は主として人間らしく生きるということ、すなわち生の意味にかかわる。神々は人間の心のなかにイメージないし観念としてのみ現象する。ひとは神々の存在を確信することはできるが、外界にその存在を確認することはできない。神々というイメージ＝観念は、だから意味そのものであり、神々を祭るという行為は意味の世界の行為、象徴的行為にほかならない。祭器とは祭祀という象徴的行為を成り立たせるための道具であった。

道具の装飾性はこの意味に深くかかわっている。意味の世界の行為を成り立たせる道具は、それ自体が意味の世界に属していなければならない。神々のための器は神々にふさわしい形や色や文様をもっていなければならない。その意味が装飾性として結晶するのである。

道具に装飾性として表現される意味すなわちイメージ＝観念は、なにも神々だけではない。たとえば美というイメージ＝観念もそうである。またそれは、祭器のばあいのように、二次用途の目的としてのみあらわれるのでもない。一般に、道具の形態は機能によってかなりの程度まで規定されるが、材質や色彩や文様などはずっと選択の自由度が大きい。あの文様でなくこの文様を選ばせるもの、それが意味であり、イメージ＝観念にほかならぬ。こうして、たんに役に立つだけでなく、同時に美しくもある道具が誕生する。

- (1) 一次用途で用いる道具にも、美というイメージを表現することができる。
- (2) 道具に装飾性として結晶する意味は、常に二次用途の目的として現れる。
- (3) 二次用途を目的とした道具は、一次用途としての機能を失っている。
- (4) 道具の二次用途は本来、神々を祭るという象徴的行為から発生した。
- (5) 道具の装飾性は、目的及び機能をイメージとして表現したものである。

[No 3 0] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

音楽は、本来数理的な秩序の上に立つものだ。作曲家が、数の錬金術をきたえあげることで、普遍的な完き美をめざすことに誤りはない。が、音楽にかぎらず、ぼくたちの仕事は、精神において触れえた事物を提示することにある。芸術は創造精神の具体化に他ならない。音楽作品は、《音》を媒体として、精神によって捉えられた事実なのであり、その意味で、作品はまったく具体的なのである。よく、音楽は抽象的であるといわれるが、この言葉は、大変あいまいだし、誤りやすい。ただ《音》の、いわゆる抽象性ということについては、ぼくも否めないが、作品はあくまで具体的に、生々しい音楽感動を伝えるものでなければならぬだろう。

前述したように、音楽は、数理的な秩序の上に成り立ち、他の仕事と異なって、特殊な《時間性》の問題が介在するから、芸術作品としての形式の問題が重要となってくる。そして、それらの方法は、あくまで人間の実在を探究するはずのものであり、作曲家が外形の図式的な追究にのみ終始するとしたら誤りもはなはだしい。

いま、ぼくがここに論じ、ぼくたちが手にする音楽は、ヨーロッパの音楽であり、調律された組織のなかにある《音》である。ヨーロッパで、音楽が芸術として位置した日から、長い時が経った。その間に作曲家は、音楽の本質を、派生的な、図式的な方法の追究とすりかえてしまった。音楽にかぎらず、西欧の合理主義思想は、細分化の傾向をたどり、作曲家は数の錬金術をきたえあげることによって、音楽の本質を見失っていった。

今日、いわれている十二音音楽も、歴史の必然的な結果ではあろうが、前述した意味で、大変危険な面をもっている。十二音音楽において顕著な、音楽の数学的、幾何学的な追究は、全く知的な行為であって、それは、美学の純粋性が際立ちすぎることによって得る欠陥と同様の結果をまねくであろう。そこには芸術創造の第一の要素である感受性を硬くし、固定させるおそれがある。

しかし、ぼくたちは、いつでも新しい秩序を発見することに勇敢でなければならないし、新しい方法に対して怯懦であってはならないのだ。そして、忘れてならないのは、そこに、いつでも人間の手を通すことなのだ。

- (1) 音楽は本来、数理的・抽象的な創造精神の発露であるから、知的で図式的な方法はその本質をなしているが、それは感受性を硬化させる危険と裏腹である。
- (2) ヨーロッパの音楽は、もはや音楽の本質を見失ってしまっているが、それは数の錬金術とでもいうべき普遍的な美の追究がもたらした必然的な結果である。
- (3) 生々しい音楽の感動を回復するためには、外形の過度に図式的な追及を断念し、調律された組織の中に封じ込められている音を解放することが必要である。
- (4) 十二音音楽は、西欧合理主義思想の必然的な流れではあるが、音楽芸術を、抽象的な《音》の数理的な秩序の上に成り立つものとする誤りを犯している。
- (5) 音楽の形式面の発展は、人間的な感動を伝えるという本質を見失う傾向を伴っており、新しい音楽の探求にあたり、このことに自覚的でなければならない。



[No. 3 1] 次の文章の主旨として、最も妥当なものはどれか。

日常会話においては、関心はもっぱら共通了解によって指示されている言葉の中心的意味に集中し、言葉の周辺の意味には余り関心が払われないのに対し、法的言語においては、周辺部分こそ関心の対象となる。このことは、文学書を読む場合と法律書を読む場合の、読書態度の基本的な相違に連なっている。

蟻が／蝶の羽を引いて行く／ああ／ヨットのやうだ (三好達治「土」)

詩人や作家は、心に湧きおこる心像や感慨の核心を、端的な言葉で鋭く表現しようとする。抽象的・一般的な用語が用いられていても、それらは、具体的な、心内のイメージに直結している。それに対し、法律の条文を読む時は、立法者の心内の心象などはほとんど問題にならない。そもそも立法者自身が、さまざまな限界的事例について考え抜いた末につくりあげた条文だから、中心的イメージに相当するものが存在しないこともある。民法一条ノ三「私権ノ享有ハ出生ニ始マル」という条文について、文学青年は、健康な赤ちゃんがオギャーと生まれる典型的な場合を思い浮べて、生命誕生の厳粛な瞬間についての感慨に耽るかも知れないが、立法者は母の体内から半分出かかって死亡した場合や、さらに半分出かかったところで死亡する直前に父や母が死亡した場合のことを、相続法との関係で考えながら立法する。(最高裁の違憲判決に従って、平成七年に削除された) 刑法二〇〇条の尊属殺人に関しても、非法律家は、親子相争う家庭内悲劇などを思い浮べるであろうが、法律家は、認知されていない子が生物学上の父親を殺した場合どうなるかとか、精子銀行や借り腹の場合どうかとか、限界的な事例に先ず頭が働く。民法債権編が、債権の本質規定でも定義でもなく「債権ハ金銭ニ見積ルコトヲ得サルモノト雖モ之ヲ以テ其目的ト為スコトヲ得」と、債権としては周辺の・例外的な事例の規定から始まっていることも、限界的事例に関心を集中する法律の性格を物語っている。文学者は自らの心の中の感激を集約的に表現しようとするのに対し、法律家は自らの言葉の一つ一つが、未来に生ずべき多種多様な紛争の解決にどう関わるかを慎重に考慮する。「一語一語言葉を選びながらゆっくり慎重に語る」とは、司法当局者の記者会見の典型的スタイルである。文学者も法律家も、言葉に非常に神経質で、簡潔で鋭い表現を好むが、その神経の使い方が全然違うのである。

- (1) 文学者と法律家との言葉に対する相違は、使用に際して具体的なイメージを持っているか否かにある。
- (2) 法律家は立法に当たって解釈の一意性に配慮するので、法律の条文は正確だがイメージが掴みにくい。
- (3) 法律言語においては、あらゆる可能性に配慮して、言葉が該当する範囲の確定に神経が使われている。
- (4) 言語表現に関して、文学においてはその効果が、法律においては正確さが関心の中心に置かれている。
- (5) 法律家は文学者と同様に言葉に非常に神経質だが、言葉の使用においては、文学者よりも慎重である。

[No.3 2] A～Dの4人は、新宿、池袋、上野、渋谷のいずれかの支店の店長であり、各支店の店長は1人しかいない。次のア～ウの3つのことがわかっているとき、確実にいえるものはどれか。

ア Aは新宿支店の店長と会ったが、Bとは会わなかった。

イ Bは上野支店の店長と会ったが、池袋支店の店長とは会わなかった。

ウ Dは新宿支店の店長と会わなかった。

- (1) 渋谷支店の店長は、上野支店の店長と会った。
- (2) 渋谷支店の店長は、新宿支店の店長と会わなかった。
- (3) 池袋支店の店長は、渋谷支店の店長と会った。
- (4) 池袋支店の店長は、新宿支店の店長と会わなかった。
- (5) 新宿支店の店長は、上野支店の店長と会った。

[No.3 3] 街頭で趣味についてアンケート調査をしたところ、A～Cの3つのことが分かった。このとき確実にいえるものはどれか。

A 釣りが好きな人は、読書も将棋も好きである。

B ゴルフ又は登山が好きな人は、園芸も好きである。

C ゴルフが嫌いな人は、将棋も嫌いである。

- (1) 釣りが好きな人は、園芸も好きである。
- (2) 将棋が好きな人は、釣りも好きである。
- (3) ゴルフが好きな人は、読書も好きである。
- (4) 登山が嫌いな人は、園芸も嫌いである。
- (5) 読書が嫌いな人は、登山も嫌いである。

[No.3 4] ある区域には小選挙区が38あり、前回と今回の選挙ではそのすべてをA党とB党で占めている。この区域全体では、前回はA党の候補者が当選した小選挙区がB党のそれよりも18多かったが、今回はB党の方がA党よりも20多かった。また、前回と今回ともにA党の候補者が当選した小選挙区数は7であった。

このとき、前回と今回ともにB党の候補者が当選した小選挙区数は、次のどれか。

- (1) 5
- (2) 6
- (3) 7
- (4) 8
- (5) 9

- [No.35] 3種類のカードA、B、Cがあわせて10枚、図のように一列に並べてある。まず、Cのうち任意の1枚をAに書き換え、その結果、①2枚のAの間にBだけの並びがあれば、それをすべてAに、②2枚のBの間にAだけの並びがあれば、それをすべてBに書き換える。次に、残り2枚のCのうちの1枚をBに書き換え、①と②の作業を行う。最後に残ったCをAに書き換え、①と②の作業を行う。

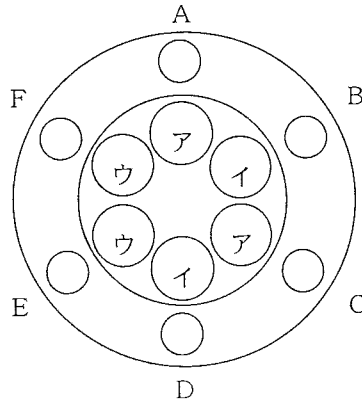
このとき、Bのカードが連続して並ぶ最大の枚数は、次のうちどれか。

A	C	B	B	B	C	A	A	A	C
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (1) 5枚
- (2) 6枚
- (3) 7枚
- (4) 8枚
- (5) 9枚

- [No.36] A～Fの6人が図のような円卓で中華料理を食べた。料理を載せた内側の部分は回転するようになっている。アは肉料理、イは魚料理、ウは野菜料理である。まず、図の状態ですべての手元の料理を自分の小皿に取ったので、Aの小皿には肉料理が取られた。Aは肉料理以外のものも欲しいのでテーブルを回転させたところ、全員の手元に各人が先に取った料理とは別の種類の料理が、例えば、先に魚料理を取った人の手元には肉料理か野菜料理が来た。そこで、それぞれ手元の料理を取った。

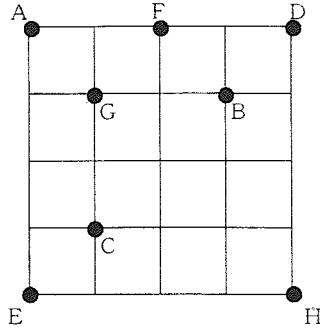
このとき、Aと同じ種類の料理の組み合わせとなったのは、次の誰か。



- (1) B
- (2) C
- (3) D
- (4) E
- (5) F

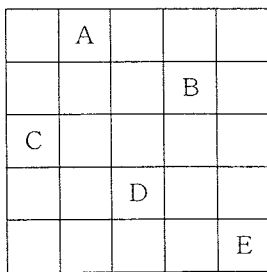
[No.37] 図のような昇目状の経路があり、隣り合う交差点を結ぶ経路の距離はすべて等しい。いま、PがAを出発して、B、Cをこの順に経由してDに到着した。Pと同時にQはEを出発して、F、Gをこの順に経由してHに到着した。PとQがたどった経路はどちらも、条件を満たす限りで最短のものであった。PとQの進む速さは等しく、各点で停止することはなかったので、PがDに到着するのとQがHに到着するのは同時だった。

このとき、PとQがすれ違う可能性のある場所の数は、次のどれか。



- (1) 1か所
- (2) 2か所
- (3) 3か所
- (4) 4か所
- (5) 5か所

[No.38] 次の図は同じ大きさの正方形25個からできている。5個にはA～Eの記号が付いているが、このうち2つの記号のみを含む四角形は全部でいくつあるか。



- (1) 31個
- (2) 33個
- (3) 35個
- (4) 37個
- (5) 39個

[No. 39] 図1のような模様が入った正三角形の紙を3つの断片に切り分けたとき、そのうちの2つの断片が図2のとおりであった。このとき、残りの断片はどれか。ただし、裏面は白紙とする。

図1

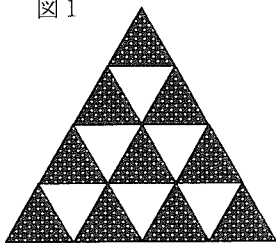
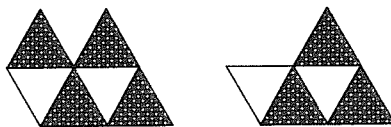
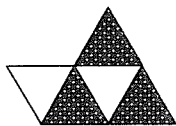


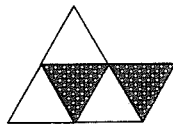
図2



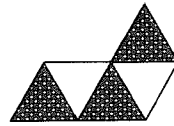
(1)



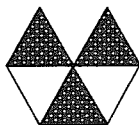
(2)



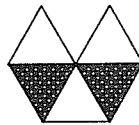
(3)



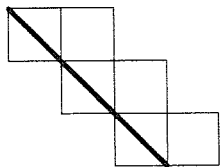
(4)



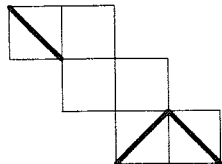
(5)



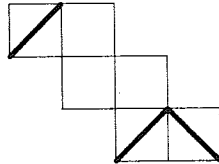
[No. 40] 図は立方体の展開図に太線を書き入れたものである。組み立てて立方体としたとき、太線の形状がこれと同じになる展開図はどれか。



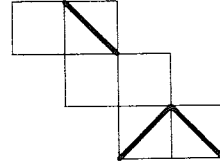
(1)



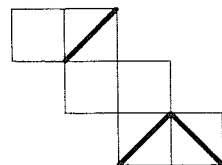
(2)



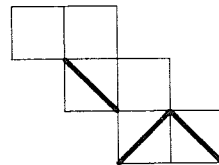
(3)



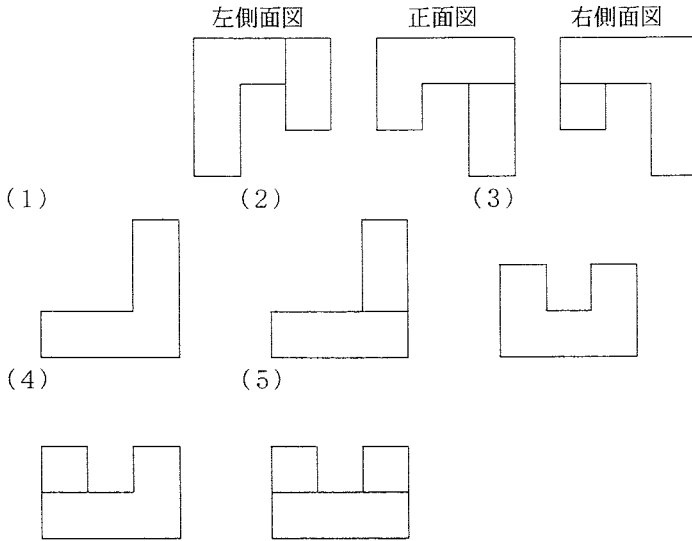
(4)



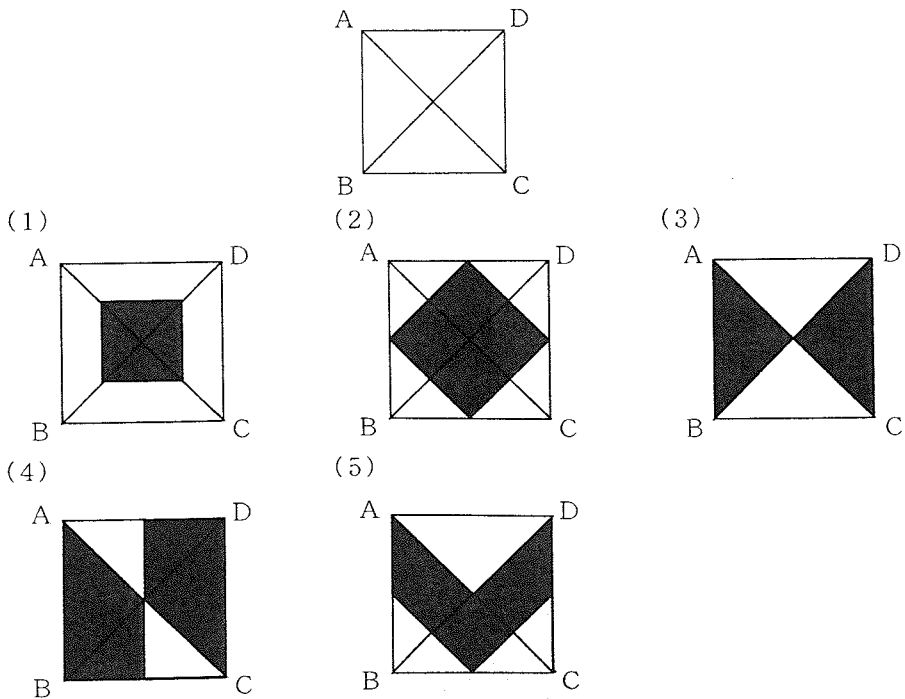
(5)



[No.4 1] 図は、同じ大きさの立方体8個を組み合わせた立体について、正面図及び左右の側面図を示したものである。ただし、構成する立方体の継ぎ目は表示していない。この立体を上から見た平面図に当たるものはどれか。



[No.4 2] 図のような正方形ABCDの辺AB上を点Pが動き、対角線AC上を点Qが動く。また、辺CD上を点Sが、対角線BD上を点Tが動く。P及びQを結ぶ線分の中点をR、S及びTのそれをUとする。このとき、RとUが動く範囲に影を付けたものはどれか。



[No.4 3] あるグループの会員50人について、次のア～ウのことがわかっているとき、会議に参加した成人男性は何人であるか。

ア 男性は27人、未成年は12人、会議に参加したのは39人であった。

イ 会議に参加した女性は19人、会議に参加していない女性のうち未成年は3人であった。

ウ 会議に参加していない成人男性は2人、会議に参加した成人女性は17人であった。

- (1) 15人
- (2) 16人
- (3) 17人
- (4) 18人
- (5) 19人

[No.4 4] 572の正の約数の個数は、次のどれか。  
ただし、約数には1及び572も含む。

- (1) 11
- (2) 12
- (3) 13
- (4) 14
- (5) 15

[No.4 5] 運動場に直線を引き、その上にA、B、C、Dの4人がこの順に立った。AとCの距離は60 m、BとDの距離は90 mであり、AとBの距離に対するAとCの距離の比の値を $x$ とし、CとDの距離に対するBとDの距離の比の値を $y$ とすると、 $x$ 対 $y$ は2対1であった。このときのAとDの距離は、次のどれか。

- (1) 100 m
- (2) 105 m
- (3) 110 m
- (4) 115 m
- (5) 120 m

[No.4 6] 5%のアルコール水溶液が200 gあり、これに10mlの計量容器で水を加えて3%以下に薄めるものとする。このとき、計量容器で水を加える回数は、最も少ない場合で次のどれか。

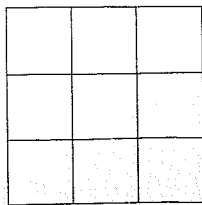
- (1) 10回
- (2) 11回
- (3) 12回
- (4) 13回
- (5) 14回

[No.4 7] 78~926までの整数のうち、5で割り切れるものの和はいくつか。

- (1) 56,525
- (2) 68,425
- (3) 75,525
- (4) 85,425
- (5) 96,525

[No.4 8] 図のような3行3列の区画のうち2か所に記号Aを書き入れるにあたり、同じ行にも同じ列にも2つのAがこないように制限する。この区画に2つのAを記入した結果のパターンの数は、次のどれか。

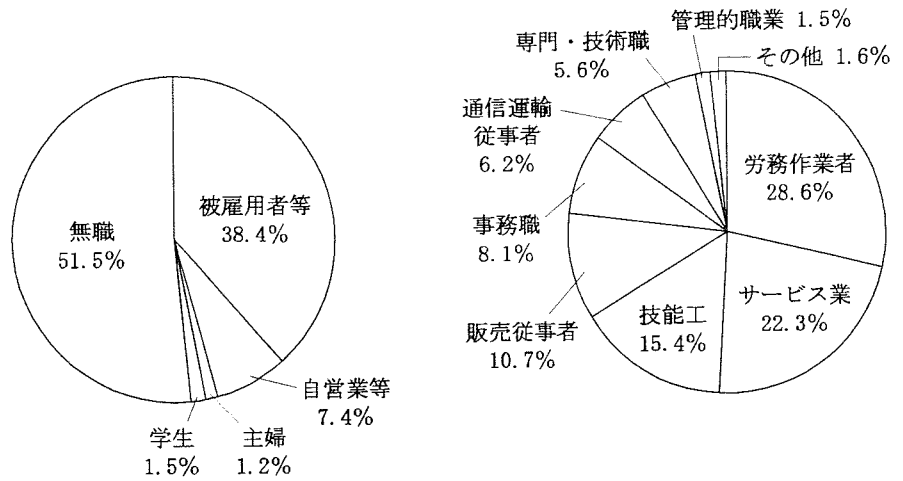
なお、2つの記号Aには区別がないものとする。



- (1) 14通り
- (2) 15通り
- (3) 16通り
- (4) 17通り
- (5) 18通り



[No.4 9] 次のグラフは、覚せい剤事犯の送致人員を職業別に示したものであり、左のグラフが全体のもので、総数は 1855 人であった。右のグラフは被雇用者等の内訳である。これらのグラフから正しくいえるものはどれか。



- (1) 覚せい剤事犯のうち、労務作業者の数は無職のそのの20%を上回る。
- (2) 覚せい剤事犯のうち、自営業等の数はサービス業のそれよりも多い。
- (3) 覚せい剤事犯のうち、技能工の数は約150人で全体の約5パーセントに当たる。
- (4) 覚せい剤事犯のうち、サービス業の数と事務職のそれとの差は50人程度である。
- (5) 覚せい剤事犯のうち、専門・技術職の数は学生のそのの2倍以上である。

[No.50] 次の表は、東京都県境における交通量を示したものである。12 時間とあるのは7時から19 時までの12 時間の車両台数、24 時間とあるのは7時から翌日7 時までの車両台数である。これらの表から正しくいえるものはどれか。

ただし、表中の流入は県側から都内へ、流出は都内から県側へのものとする。

12 時間	埼玉	千葉	神奈川	山梨	計
流入	303,134	155,893	227,286	17,036	703,349
流出	309,291	153,832	221,439	16,194	700,756
計	612,425	309,725	448,725	33,230	1,404,105

24 時間	埼玉	千葉	神奈川	山梨	計
流入	451,702	235,142	344,661	26,055	1,057,560
流出	460,784	237,216	348,974	23,387	1,070,361
計	912,486	472,358	693,635	49,442	2,127,921

- (1) 7時から翌日7時の間に埼玉県境から都内に流入した車両数は、同じ時間帯に都内に流入した車両台数全体の45%を超えている。
- (2) 19時から翌日7時の間に千葉県境から都内に流入した車両台数は、7時から19時までのその60%を超えている。
- (3) 7時から19時の間に神奈川県境において都内との間で流出した車両台数は、19時から翌日7時までのそれより20万台以上多い。
- (4) 山梨県境においては、他の県境と異なり、7時から19時までの都内への流入量よりも、19時から翌日7時までのそれの方が多い。
- (5) 7時から19時までの間に東京都と周辺4県の県境を流出した車両台数は、19時から翌日7時までのその2倍以上である。

# 平成21年度 警視庁男性警察官第3回(I・Ⅲ類)採用試験

## 第1次試験 教養試験(五枝択一式)

### 正 答

試験実施日 平成22年1月17日(日)

試験区分 男性警察官(I・Ⅲ類)

正答の掲載期間 1月20日(水)から1月26日(火)まで

※この正答は、警視庁情報公開センター及び都庁都民情報ルームでも閲覧することができます。

### I 類 教養試験 正答 五枝択一式・50題解答・2時間

1. は問題番号、(1)は正答の番号を表す。

1	(2)	2	(3)	3	(2)	4	(4)	5	(1)	6	(4)	7	(5)	8	(4)	9	(5)	10	(5)
11	(1)	12	(3)	13	(2)	14	(1)	15	(3)	16	(4)	17	(2)	18	(1)	19	(3)	20	(3)
21	(1)	22	(5)	23	(2)	24	(3)	25	(4)	26	(5)	27	(2)	28	(4)	29	(1)	30	(5)
31	(3)	32	(1)	33	(1)	34	(4)	35	(4)	36	(3)	37	(5)	38	(4)	39	(1)	40	(2)
41	(1)	42	(5)	43	(4)	44	(2)	45	(2)	46	(5)	47	(4)	48	(5)	49	(1)	50	(3)

## 警察官（I 類）論文試験

平成 22 年 1 月 17 日（日）実施

### 【注意事項】

- 1 字数は 1,000 字程度、時間は 80 分です。
- 2 答案用紙の所定欄に、該当する受付番号を記入しマークしてください。右上部の※欄、及びマーク欄には何も記入しないでください。
- 3 課題欄には、必ず下記の課題を記入してください。
- 4 答案用紙は左横書きとし、枠外及びその他余白には何も記入しないでください。
- 5 メモ等をした場合には、本紙の余白及び裏面を使ってください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ることができます。

～ 課題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

### 【課題】

あなたにとって、警察官の仕事とはどのような意味を持っているのか、どのような警察官になりたいのか志望動機とあわせて具体的に述べなさい。

# 警察官（I類）国語試験問題

平成22年1月17日(日)実施

## 【注意】

- 1 試験時間は20分です。
- 2 くずし字や乱雑な字は採点の対象とならないので、楷書で丁寧に記入してください。  
また、旧字体や略字は、誤答となります。
- 3 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ることができます。

- 1 次の( )内の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(30問)
- 2 次の( )内のひらがなを漢字で書きなさい。(30問)

- (1) 調査(捕鯨) 船団
- (2) (懇願)を聞き入れる
- (3) 直らない(病癥)
- (4) 子供は(疫痢)にかかりやすい
- (5) 称号を(剥奪)する
- (6) (変遷)を経る
- (7) (恥辱)に堪える
- (8) (改悛)の情
- (9) (錠剤)を飲む
- (10) (嗅覚)が鋭い
- (11) (蘊蓄)を傾ける
- (12) (猛省)を促す
- (13) (因業)な仕打ち
- (14) (棟上)げ式
- (15) 銅に生じる(緑青)
- (16) (瑕疵)ある意思表示
- (17) 寺の(庫裏)
- (18) (一矢)を報いる
- (19) (粗削)りな文章
- (20) 真っ赤な(湿疹)
- (21) (貸借)対照表
- (22) 損害の(多寡)によって対策を練る
- (23) この師匠に(私淑)する
- (24) 事の(次第)を話す
- (25) 領土を(割譲)する
- (26) 腹をゆすって(哄笑)する
- (27) (肝銘)を受ける
- (28) (懐柔)策
- (29) (卑劣)極まりない
- (30) (傲然)たる態度

- (1) 学生の(そしつ)を見抜く
- (2) (いりょう)過誤
- (3) 金銭に(しゅうちやく)する
- (4) (ぐうぞう)崇拜
- (5) 事情を(ちょうしゆ)する
- (6) (かそう)行列
- (7) (せいきょう)分離の原則
- (8) 矛盾が(ろてい)する
- (9) 耳の(こまく)が破れる
- (10) (よくとく)づくではできない親切
- (11) 被害者に(しゃざい)する
- (12) 強制(そうかん)された外国人
- (13) 暴徒を(ちんあつ)する
- (14) 雑務に(ぼうさつ)される
- (15) 市町村(がっぺい)
- (16) (ひぎ)こもごも
- (17) 旅券を(ぎぞう)する
- (18) 海を(ひょうりゅう)する船
- (19) 方針を(てってい)させる
- (20) 年とともに(えんじゅく)味を増す
- (21) (さいだい)漏らさず観察する
- (22) 酒を飲んで(ようき)に騒ぐ
- (23) 毎日(おもしろ)く暮らす
- (24) 牛乳が(ふはい)する
- (25) (くのう)の色が顔に現れる
- (26) 有段者に(ひってき)する実力
- (27) 暴力団を(はいじょ)する
- (28) 黄河文明の(はっしょう)の地
- (29) (かたず)を吞んで待つ
- (30) 体(しぼう)率を計測する